

ましたがこの程完成、お届け出来る運びとなりました。質量共にご期待にお応えし得る労作であると思っております。ご熟読頂きます様お願い申し上げます。

寒暖不定の天候が続きます。関東支部会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。事報告とさせていただきます。

## 本部だより

幹事長 岡内紀雄(34回生)

関東支部のみなさん、ご機嫌いかがですか。南国土佐では、間もなく梅雨入りですが、早くも一足飛びに夏日が続いています。

### 「アサヒビール解禁」

一昨年10月に高知県が、「深層水ビールを造りませんか」とアサヒビールに企画を持ちかけ、室戸の海洋深層水とデータを提供していたにもかかわらず、事前に何の断りも説明もなしに、昨年12月に突然アサヒが「富山県の深層水で発砲酒を発売」と発表したことに納得ができない高知県が、橋本知事名で同社に抗議文を送った問題で、2月5日に同社の福地社長が来高、

橋本知事に新製品の発表まで高知県への連絡がなかったことについては、「至らぬ点があった」と謝罪。2月22日、発砲酒「アサヒ本生」が発売されました。「いごっそう」を自負する高知県人としては、「なめたらいかんぜよ」と、「アサヒビールは飲まない症候群」が広まり、ホテルを始めあらゆる宴会場や酒場で、他の銘柄を指名する人々が急速に増加して、しばらくは治まりそうにない状態が続いていました。その後アサヒの社長が再び来高して改めて陳謝、今後高知県と共同で深層水の利用について研究していくことで合意、本件はようやく水解除してアサヒビールは解禁につながりました。めでたし、めでたし。

### 「よさこい高知国体の憂」

昭和21年に始まった「国民体育大会」の第57回大会は、来年、高知県で開催されます。夏季大会(9月21日、24日)及び秋季大会(10月26日、31日)として県内53全市町村の会場で様々な競技が繰りひろげられます。しかし、とくに輸送と宿泊の面で大きな問題があり、その解決に向けて関係者の苦悩の日々が続いている。

ます。秋季大会の開会式は、春野総合運動公園で行われ、参加人員は2万7千、2万8千人が予想され、その輸送には大型バス七〇〇台が必要なのに、県内の保有台数は二〇〇台に過ぎず、不足分は県外からチャーターしなければなりません。また、夏季大会は参加者が比較的少ないので、何とか対応できそうですが、秋季大会では、ピーク時には約3万人の宿舎が必要で、とくに高知市を中心に、いろいろと工夫、努力をしても、今のところ約3千人の宿舎が不足している状況です。

1千人は、客船2隻をチャーターする予定ですが、2千人分が未解決です。多くの県民がホームステイに協力することも必要であると思います。今年度の同窓会総会は、8月4日(土)高知新阪急ホテルで開催いたします。関東支部のみなさん多数のご参加をお待ちしています。

## 東海支部だより

東海支部を東西支部交流の起点に

支部長 太高坂素雄(31回生)

一昨年から母校同窓会の4支部の総会に参加させてもらった。関東、関西支部は、人数も多く、各年次に世話役を配すなど活発に活動されている。特に若い人の参加が多く感心した。広島、香川支部は、会員相互のつながりが密で、日頃の地元に着した活動が印象に残った。

さて、東海支部はどうだろうか? 関東、関西支部ほどの規模はなく、広島、香川支部のような地元との密着性もない。丁度この地域の特性(?)である、ふんわりした感じの集りである。この地域には、名古屋という町はあるが、東京、大阪程の力はない。愛知県でも、世界に通用する町は、今、車の町トヨタであり、歴史的に云えば、五万石でも岡崎である。要するに、この地域には、「へそ」がないのである。だから何をやって、まとまりがない。古い話だが20年前、東京オリンピック、大阪万博に続いて、名古屋オリンピックを計画したが見事失敗した。

今、二〇〇五年愛知万博(名古屋万博ではない)の準備を進めているが、順調ではない。関係者の熱心に比べ

一般は冷ややかである。こんな土地柄だから(?) 当支部も、熱気溢れる会とはいかないが、反面堅苦しさのない至って気安い集りだと思ふ。関東、関西からの転勤者にとっては、少しもの足りないかも知れないが、これはこれで結構面白い深いところもある。転入者はもちろん、転出された方々も時には、東海支部の会合にも参加してほしい。

名古屋地検特捜部を作られた秋田清夫氏(27回)、丸紅常務名古屋支社長として大きな仕事をされた森本直行氏(32回)なく、ごく最近でもこの地で活躍された方は多い。



そんな方々の参加があれば、この支部も大いに活性化される。

また「のぞみ」のおかげで東京、大阪と名古屋は一段と近くなった。東西支部の中央にある東海支部を起点として相互の交流をより一層深めたいと思う。そして二〇〇五年の万博には、全国から大勢の同窓生を迎えて、この地で合同の催しでもできればと夢みている。

### 関西支部だより

幹事 山崎登代子(42回生)

関西支部の皆様こんにちは。関西支部の総会は21世紀幕開けの1月13日(土)リッツカールトンホテルにて開かれまして。母校、本部、各支部からの来賓を含め過去最高の一二三名ほどの参加者を得て、会



場は華やかな熱気に包まれました。総会では新役員として副支部長川崎美栄子(42回)、副幹事長北野忍(53回)、横川大(61回)の各氏が盛大な拍手をもって承認されました。その後は寛もたけなわで豪華な会場とシエフ自慢の料理の数々、そのうえ持ち込み料を払ってまで持ち込んだ高知の竹輪や蒲鉾のおいしかったことは言ってもありません。

交渉に当たった山下幹事のひたむきな姿勢には頭が下がる思いでした。今回は好評を博した企画がいくつかありました。一つは永野支部長が提供した巨人軍松井選手のサイン色紙をゲットするジャンケン大会です。これは初参加の大学生に渡り、若々しいガッツポーズが大いに会場を盛り上げました。もう一つは高知の安岡信江(34回)さんの御指導のもと全員でハメをはずしたよさこい囃子踊りでした。札幌のよさこいソーランをはじめとして全国によさこいと名の付いた祭りが飛び火している昨今ですが、元祖の地位を奪われないように自覚せねばなりません。また土佐中、高創立80周年を記念しての写

真やビデオ祝辞が紹介され心強いかぎりでした。

### 広島支部だより

幹事 小島康(37回生)

光る海、新緑、鯉のたたき・風薫る5月。故郷高知を懐かしく恋しく思う季節です。関東支部の皆様こんにちは。「筆山」29号以降の支部活動の御報告です。

広島支部は、他支部との総会開催時期の重複を配慮する為の措置として、去年は総会を1月22日、11月25日と2度開催致しました。因って今年からは秋に開催ということになります。会場は何れも県民文化センターでした。閉会后、役員は2次会の会場の予約を取り付けて2次会の会場に向かう手際によさで、二一年の総会ももちろん10月27

日(土)県民センターと決定しております。(平和公園、市民球場、ひろしま美術館、デパート等主たる施設建物を一堂に有する場所柄、総会当日又はその前日、翌日、ゆっくり観光をしていたきたいと思えます)。

我支部は総会同様にその後の2次会にも役員が気配りをしていきます。40名以内の少人数といつこともあつてほとんど全員が2次会に参加されます。皆さん各分野のスペシャリストでいらつしやるので和気藹々の中にも、アカデミックな会話が飛び交い本会議同様に熱が入ります。若者向けのコースももちろん構えてあります。

4月の梅太郎での「青春の集い」の場で、今秋の講演を何方にしていたかということになり、飲みながらおしゃべりしながらの間に間に、阿吽の呼吸でパパパパと連絡し合つて26回生の山本浩史氏と決定しました。(湯川秀樹博士の愛弟子で)京都大学で理論物理学を学ばれた方で若かりし日のドイツ留学中の研究室のこと、ヨーロッパでの登山のことをおはなししていただく予定です。

広島支部は去年40回生、41回生が主たる役員となつてからは、役員会はまだでクラス会の如き和やかさで事務処理はスピードアップ。課題がひとつひとつ改善されてゆきます。それもそのはず、支部長と事務局長が40回生Tホームの同級で、その上現在職場が同じなのです。

まずは、広島支部の名簿作成に着手。次に広島支部会報誌「青春」の発行。貴支部で御活躍の西岡恒憲氏が広島支部から関東支部に移籍されて以来休刊してありましたが、第10号発刊となりましたことは画期的な出来事です。

又、会費を徴収することが去年の総会で決議され4月に青春10号と共に振込用紙を各会員のもとに送付致しました。長年、財政の遣り繰りで頭を抱え込んでいた会計幹事より、「だんだん入金がありだしました」と歓喜のフアックスが入つたと事務局長よりほんの最近電話がありました。

このように広島支部は楽しみながら地道な活動を続けておりますので御指導の程よろしくお願い申し上げます。今日5月26日、沖、山崎が東海支部総会に出席させてい

ただいております。1週間後  
関東支部総会で皆様にお会い  
することを楽しみにペンを書  
きます。

### 香川支部だより

幹事 谷隆(38 回生)

関東支部の皆様こんにちは。  
早いものでお別れして間もな  
く1年になります。毎月第  
1木曜日には「土佐酒蔵」の  
奥の一木会の指定席を懐かし  
く思い出し、相変わらず38回  
が一番出席率が高いがやない  
らうかと想いながら、美味い  
瀬戸内の魚で一杯飲っています。

香川支部では目下、7月7  
日の支部総会に向けて最終の  
準備に入っておりますが、参  
加者が初めて50名を超えた。  
昨年以上に盛大な総会にすべ  
く頑張っております。関東支  
部からは鶴和事務局長が駆け  
つけてくれる予定で、小生も  
再会を楽しんでいます。

いささか旧聞に属しますが  
本年2月14日に支部役員会を  
開催し、役員補充や会則の  
改定、本年度の総会等につい  
てそれぞれ決定し、会議終了  
後懇親会に移りましたが総会

に負けない位の盛り上りを見  
せました。

高松市は港頭地区の再開発  
事業で、あの懐かしい旧国鉄  
時代の連絡船乗り場、高松駅  
(ホント乗り換え時には、み  
んなよく走りました)周辺が  
愛称「サンポート高松」とし  
て生まれ変わり、昔の面影は  
どこにも残っていませんが、  
現在一番の人気スポットになっ  
ています。

ところでこれは何のメニュー  
か判りませんが。

「お品書き」

あつあつ 大 三五 円

ひやあつ 小 二五 円

ひやあつ 大 三五 円

ひやひや 小 二五 円

ひやひや 大 三五 円

しょうゆ 小 二五 円

しょうゆ 大 三五 円

小生が週に1回以上通ってい  
る、さぬきうどんの人気店の  
メニューです。美味しい、早い  
安い、正に名物に美味しいもの  
有ります。因みに私の定番は  
ひやあつの大+しょうゆの小

これでうどん3玉ですが不  
思議とする入ります。高松  
に来られる時は「一報下さい」  
ご案内します。一度食べたら  
嵌まりますよ。

第9回はちぎん会(土佐高  
OG会)は、5月19日(土)  
午後1時より「トラットリア  
ラ・ベルデ」青山店で開催さ  
れました。



今回は、25回生山本高敬氏  
"写真左をナイトに、女性30  
名(うち学生3名)、歴代ナ  
イトも4名参加されて、計35  
名の男女が、知的に、かつ華  
やかに懇親を深めました。



山下涼子(70 回生)

私は、今回が2度目のはち  
ぎん会参加だったので、前  
回よりもさらに「はちぎん  
パワー」を感じたパーティで  
した。N先輩御用達のお店を  
貸し切って、というだけで  
雰囲気の中とはいえ、今回の  
ナイト、過去のナイト  
の方々と  
う世間一般  
では名士と  
される方々  
に、白や黄  
色、ピンク  
の蝶の羽根  
と触覚をつ  
け、「かわ  
い」と言っ  
てしまうの

## はちぎん会



は、やはり「はちぎん」なら  
ではだ、と思ってしまうま  
でした。個人的に少し落ち込ん  
でいた時だったので、た  
くさんの元気をいただきました。  
ありがとうございます。  
私も早く、人を元気づけられ  
るぐらい自信をつけ  
なければ、と思いま  
した。



この会はいつでもご入会大歓迎です。  
佐々木(33) TEL&FAX 044-955-0562  
E-mail hiro-art@nifty.com  
金澤(55) TEL&FAX 03-3586-3680  
E-mail kanazawa@rg.bias.ne.jp  
西森(57) TEL 03-3408-1454

# 中谷元氏の防衛庁長官就任を祝う

それはいかにも土佐らしいオープニングだった。6月7日の一木会、中谷元長官(51回)が予定より早い7時5分



に到着すると歓声と拍手の渦のなか、いきなりあちこちで



74回生、76回生と

記念撮影が始まった。

「中谷先生、こっちこっち」「先生はやめてくださいよ」。大学1年の76回佐々木彩乃さ

## 一木会

んから最長老の16回曾和、吉澤先輩まで銀座の居酒屋「土佐酒蔵」で待ち受ける約50人、



既に酒がはいっている。もみくちゃになりながら上座にいた中谷氏は「何で私(長官に)と足が震えました。私も変人の一人と思われたんでしよう。田中外相も私も世間知らずです。しっかりと勉強して頑張らないかんと思っています」と挨拶。



土佐弁の祝辞が飛び交うなか、一人一人に心のこもった挨拶をしてまわる中谷氏に「この実直さがええ」の声。この夜ばかりは「元ちゃん」に戻った中谷氏、「母校のつながりは本当に有り難いです」。出席者全員、心から祝福し、美酒に酔った。(土佐酒蔵にて岩村康生・写真は福岡恒憲「41回」)

## 速報

関東支部ホームページに土佐高校陸上部から速報が届きました。

4x4 mと4xmで四国大会を勝ち抜いてインターハイに出場するそうです。

四国高校陸上選手権大会(6月16〜18日、春野陸上競技場)

千六百メートルリレー

1位、土佐(田口、森本雅和、東崎) 3分15秒31

新、県高校新

リレーの土佐は県体でマークした県記録、県高校記録を更新。大会記録も塗り替える

3分15秒31をマークし、16日の四百メートルと合わせリレー2種目制覇を果たした。

四百メートルリレー

1位、土佐(和田、森本貴、東崎、森本雅) 41秒23

四国高校新、県新、県高校新

昨年と同一メンバーの土佐が県体の県高校記録をさらに更新。

### お悔やみ申し上げます

恒石可幸(7回) H7・11・10

山崎武史(26回) H11・11

瀬戸伸和(31回) H12・8・24

北川一郎(10回) H12・11・11

高橋保彦(37回) H12・12・19

三宮正彦(18回) H13・1・14

和泉義輝(22回) H13・1・31

西山徹(41回) H13・3・2

川井俊彦(10回) H13・3・25

森沢一司(22回) 逝去

尾神俊彦(33回) 逝去

植田崇(31回) H13・5・21

伴正一(17回) H13・5・26

伴正一氏(ばん・しょういち) 元駐中国公使、弁護士) 26

日午後5時45分、心不全のため高知市内の病院で死去。77

歳、高知市出身。葬儀・告別式は28日正午から午後1時まで、高知市西町46の自宅で神式。喪主は妻久子(ひさこ)さん。

東大法学部を卒業後、昭和27年外務省入りし、パキスタン大使館参事官、経済協力局技術協力課長、青年海外協力隊事務局局長などを歴任。

同52年駐中国公使に就任し、同55年帰国と同時に退官。同年の参院選、同58年と平成2

年の衆院選に出馬したが、及ばなかった。日中友好会館理事長として国際交流に尽力したほか、国政や外交について発言を続けた。

(高知新聞5月28日付朝刊)